

自立活動学習指導案

1 単元名

「ルールを守って楽しく活動しよう」

2 単元の目標

- ・ルールを守って楽しく活動に取り組むことができる。
- ・最後まで話を聞くことができる。
- ・体の動きをコントロールする力を高める。

3 指導観

(1) この単元（題材）の扱いについて「単元観」

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領では、自立活動の目標を以下のように定めている。

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

また、自立活動の内容3「人間関係の形成」を次のように定めている。

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事。
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事。
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事。
- (4) 集団への参加の基礎に関する事。

本単元では特に、上記の「人間関係の形成」(4)に重点を置き、集団参加に必要な基礎に関する事について指導していく。「集団への参加の基礎に関する事」は、集団に参加するための手順やきまりを理解して、遊びや集団活動などに積極的に参加できるようになることを意味している。チーム全員でルールを守って活動することで、楽しく取り組めることに気付けるよう指導する。

(2) 児童の実態について「児童観」

本グループの児童は1年生3名で構成されている。児童Aは、勝敗のある活動で気持ちを切り替えて周囲に合わせて活動することが苦手である。児童Bは、こだわりが強く、気持ちの切り替えが難しいため、ルールを守って最後まで目的行動をやり抜くことが難しい。児童Cは話を最後まで聞き、指示に従ってルールを守って活動することが苦手である。従って、話を最後まで聞き、ルールを守って取り組むことを今回の授業のねらいとする。

(3) 教材の活用について「教材観」

パンじゃんけんは、勝ち負けがあり、ルールのある活動である。勝っても負けても活動は続くため、次のじゃんけんに向けて気持ちを切り替える必要がある。ゲームを通して遊びに必要なルールを知り、守って遊ぶことの面白さや楽しさを感じることができると考え、本教材を設定した。また、ルールを守らないときには活動が成立しないことを理解することもでき、本グループに適した教材

であると考えた。加えて、自分がじゃんけんをしていない時でも全体の流れを注視する必要があり、集中して取り組むことのできる活動である。グループの友達と力を合わせて楽しい活動を進めていくことに満足感や達成感を味わいながら、集団への参加の基礎を学ぶことができる教材であると考ええる。

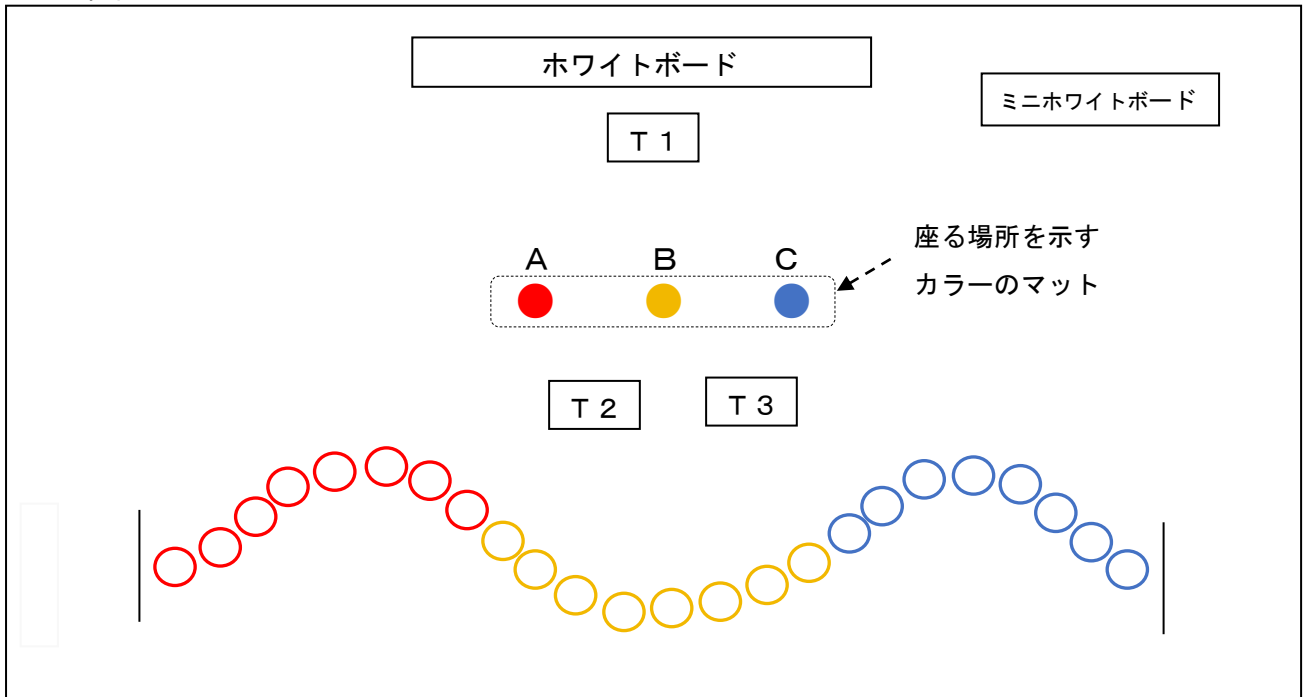
4 年間計画における位置づけ

4・5月	指導なし（新型コロナウイルスによる休校期間のため）	11月	「うれしい」「リラックス」の気持ちや体の状態
6月	上手な聞き方・話し方① 質問の仕方① 勝ち負けの受け入れ	12月	「不安」や「怒り」への上手な対処
		1月	冬休みの話 上手な聞き方・話し方② 質問の仕方② 上手な感情表現の仕方
7月	自分の感覚への気付きと表現①	2月	上手な会話の仕方
8月	自分の感情への気付きと表現②		
9月	夏休みの話 他者の感情の理解と表現	3月	1年間の振り返り 自己評価、他者評価
10月	自他の感情の理解と対応		

5 単元(題材)の指導計画と評価計画(全3時間)

時	ねらい	学習内容・学習活動	評価規準（評価方法）
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・勝敗を受け入れることができる。 ・ケンステップを用いたじゃんけんゲームを理解して取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンステップで作ったコースを歩いたり走ったりして感覚をつかむ。 ・王様じゃんけんをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケンステップをはみださずに通れているか。 ・ゲームのルールを理解しているか。 ・勝敗を受け入れることができるか。
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解して「パンじゃんけん」ができる。 ・勝敗を受け入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「パンじゃんけん」のルールを理解して、活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解して活動しているか。 ・勝敗を受け入れることができるか。
第3時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守って「パンじゃんけん」ができる。 ・勝敗を受け入れることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの作ったコースで「パンじゃんけん」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守って活動しているか。 ・勝敗を受け入れることができるか。

6 配置図



7 指導にあたって（指導の工夫）

- ・児童一人一人のカラーを決めて、座る位置や片付けの時の手立てとする。
- ・言葉での説明を減らすため、教員がデモンストレーションで手本を見せるようにする。
- ・ホワイトボードは文字での表示を減らし、絵や図で示すことで理解しやすいようにする。
- ・タイマーを用いて、見通しをもって活動できるようにする。
- ・聞く態度を意識させるため、「聞くカード」の使用で視覚支援を図る。
- ・話の聞き方・姿勢が良いときなどに、「はなまるカード」で認め、意欲を高める。

8 本時（3時間扱い）

（1）本時の目標

- ・勝ち負けを受け入れ、楽しく活動に取り組むことができる。
- ・最後まで話を聞くことができる。
- ・体の動きをコントロールする力を高める。

(2) 本時の展開 (全3時間中の3時)

時間	主な学習活動・内容	指導上の留意点・配慮事項	個別の支援・★評価
導入 (5分)	1. 始めの挨拶をし、本時のめあてを確認する。	・あらかじめ授業の流れを板書しておき、活動の見通しをもたせる。	・児童一人一人のカラーを決め、その色のマーカーに座るようにさせる。
	めあて ルールをまもってパンじゃんけんをしよう		
	2. くねくね体操をする。	・「先生の真似をしましょう」と言い、意識できている動きを認める。 ・T2, T3は担当児童に対し、個別の指導を行う。	・難しい児童には、意識するポイントを手で示す等、視覚的支援をする。 ★模倣運動ができているか。
展開 20分)	3. パンじゃんけんをする。		
	①ルールのまちがいさがしと確認	・教員がパンじゃんけんを実際に見せ、ルールをまちがいさがし形式で探させて確認する。	・ルール説明は文字だけでなく、デモンストレーション等を行い、イメージしやすくする。 ★ルール説明を最後まで聞いているか。
	②勝ち負けの確認	・「負けてもいいじゃない、怒らない、仲良くやる」を絵で示したものを用いて確認をし、適切な取り組み方を考えさせる。	
	③コースを作ってパンじゃんけんをする。	・児童が一人一人カラーのケンステップでコースを作る。両端のケンステップだけ残し、それを基準にコースを作るようにさせる。 ・赤青 対 黄T2 ・青黄 対 赤T2 ・赤黄 対 青T2	・自分のカラーが分かるよう、黒板に色のついた名札を貼っておき、常に確認できるようにしておく。 ★勝ち負けを受け入れて楽しく活動できているか。 ★確認した3つのルールを守って活動しているか。
	④片付け	・自分のカラーのケンステップを片付けるよう指示する。	
まとめ (5分)	4. 振り返りをする。	・本時の活動で頑張ったことや良かったことを発表させる。	・発表が難しい児童がいた場合は選択肢を示す。 ★友達の感想を最後まで聞いているか。

(3) 板書計画




①ホワイトボード

7/7 (か)

ルールをまもって パンじゃんけんをしよう

① くねくねたいそう
② パンじゃんけん

名前 名前 名前

②ミニホワイトボード (ルール表)

【ルール】

- ・はみだしたら もういちど。
- ・チームのひとが Oをでたらスタート。
- ・1つあけて じゃんけん。

